

土地・相続問題が圧倒的

市民相談の一年

都市化影響 核家族化 浮き彫りに

市民の皆さんは「土地問題」と「遺産相続」のことで悩んでいる——これは皆さんの相談を受ける市民相談室からみた昨年一年間の結果です。年々都市化が進み、人口も急増、市民の生活水準も向上するに従って、日常生活の中で身近におきる法律問題などがふえていくことも事実です。昨年一年間に市民の皆さんから受けた相談は、千四百件、このうち土地と相続の問題がトップを占めています。「土地」では、売買や賃貸借のほか境界線の争い。「相続」では、遺産相続人がだれになるのか、どのように遺産を分けるか、どんな手続きをしたらよいか、などの問題が圧倒的に多くなっています。このように最近では不動産と人間関係の相談が市民の直接的な問題事として明確に浮き彫りにされているのが大きな特色となっています。相談件数も大幅にふえている状態から、市民が、生活の「ものさし」として法律がどうなっているかを知ろうとする積極的な姿勢がうかがわれます。

二月の相談案内

お気軽にどうぞ

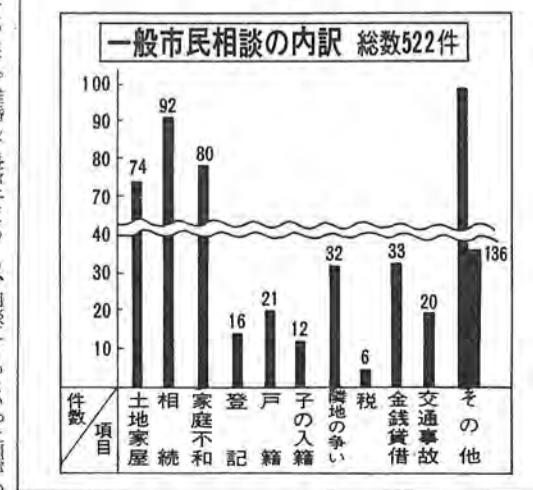
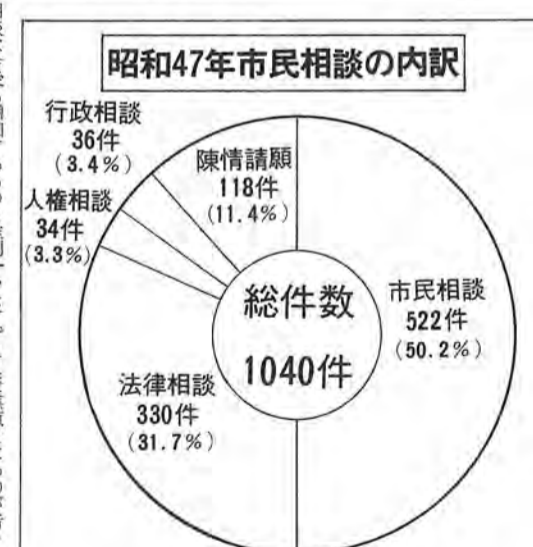
法律相談	十二日 二十六日	中央公民館
市民相談室	午前十時～午後三時	市民相談室
(市顧問弁護士)		
人権相談	十五日 市民相談室	中央公民館
午前十時～午後三時	(人権擁護委員)	
行政相談	二十六日 市民相談室	中央公民館
午前十時～午後三時	(行政相談委員)	
交通相談	八日 二十八日	中央公民館
市役所三階会議室	午前十時～午後四時	市役所
後四時 (県交通相談員)		
結婚相談	毎週水曜日 中央	中央公民館
午後十時～午後三時	毎	
公民館	午前十時～午後三時	中央
週日曜日	午後一時～午後三時	中央

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前



よく確かめて「契約」を急増する法律相談

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前



土地・家庭問題や家庭不和など、市民の身近な問題に適切なアドバイスを与える法律相談

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前

市民相談室では、法律、市民(昭和四十二年と比較してみます)の昭和四十二年と比較してみます(電話でも受付けている)、人権、行政のそれぞれの相談と陳情・請願の六つに分かれています。昭和四十七年の相談状況を見ると相談件数が千四百件、前年の千五百五十七件に比べて千五百五十七件減っています。しかし、法律と市民相談が全体のうで占める割合を比べてみると、四十七年は全体の八十一・九%(八百五十九件)と、前年の八十一・四%(八百五十九件)を上回っています。これを四年前

市民生活を守る119番

進む都市化に対処

レインジャー隊 発足

高層ビル火災に活躍

「八十一件—二億二百四十八万七千円」これは、昨年一年間に柏市内で起きた火災件数と損害額の見積りです。また、救急車の出動回数は、二千三百四十四件で一日当たり六・三回。市の消防救急活動は市民の皆さんの生命と財産を守るため昼夜を問わずたゆみなく続けられています。都市化にともないますます多様化する消防救急体制の実情をみてみましょう。

柏市の消防は、昭和三年の市内中心部の大火をきっかけに、消防団を精鋭化し、三十三年二月に消防本部とともに消防署が発足し、常設消防が整いました。

現在、本部二十二名、消防署六十五名、四方面の出動所に四十八名、計百三十五名の消防員がおります。

昨年十月には、高層ビル火災の人命救助に主力を置いた特別救助隊「レインジャー隊」が発足。隊員は十名で目下基礎訓練にはげんでいます。また、甲乙二班六名の救急隊も常に体制を整えています。

機械・施設については、車両は、消防車、化学車、はしご車（スノーケル車）など合計十七台。通信施設は、消防署の指令室に設置され、消防の心臓部にあたります。有線は十七本で、火災や各種の災害を最速限りに防ぐため、有効な通報手段として消防機関相互の通報施設、一般に使用する一九番、加入電話などがあります。

消防無線は、二十四局備え、火災現場の誘導や出動消防車に対し水利部署の選定、火災状況などについて適切な指示を指示し、また救急車が傷病者の病状などについて搬送中に連絡をとり、専門病院への照会や通報などに有効に活用されています。

消防水利をみてみますと、市内には消火栓が私設を含め二千二百四十四、防火貯水そうが百五十一基あります。水利は、火災鎮圧のため不可欠なものですので、保守管理については、定期的に点検整備されています。

郷土愛を誇る

伝統の消防団

消防団は、その前身であるイロハ四十八組の町火消し時代から、助け合いと郷土愛から結ばれる奉仕の団体です。消防の伝統である義侠と勇気と精神は、現代まで脈々と受けつがれ、日夜を問

期季雑感

市長 山澤謙太郎

ことしも明けて、早くも一月が過ぎた。

四十七年度も残すところ、あと二カ月となってしまったが、年度内の諸課題の完遂に全力を傾注してまいりたいと考えている。

新年度の政府予算案、一般会計十七兆二千八百四十億七千三百円および財政投融資六兆九千三百四十八億円の大型積極予算が、さる十五日

消防出だめ式

恒例の消防出だめ式は、さる十三日、柏中学校校庭において盛大に行なわれた。

当日は寒中ながら、幸いに

わが災害の予防に警戒し、そして有事に際しては、災害の鎮圧に献身的な努力をしています。

現在、常設の消防署も消防団もすべて市町村長の責任で管理運営されていますが、消防の職員を置く消防署と異なり、消防団は、常時ほかの仕事をもちている市民の中から任命されていますので、必要ある時に活動して消防業務を処理する機関です。

消防団の本部は、消防本部の中にあり、現在、四方面（土田中



富勢、柏十二分団、四百二十八 載車付可搬ポンプ二十五台を配置名の団員、消防ポンプ車一台、積上げています。

悩みは煙と熱

せまられるビル対策

最近の相次ぐビル火災で煙による死傷者が続出しています。今後の中層ビルがあり、今までのようなビル火災でその防火対策は、真剣に取り組まれています。

しかし、火災のほとんどが過失によって発生するのを見る時、火

多いお昼時の火事

もう一度火の元を

最近五年間の市内の火災状況をみると、発生件数では、四十六年の百三十三件がトップ。損害見積額では、昨年が最も多く二億円をこえました。

月別では、一月、二月、三月、十二月の寒い時期に集中し、時間帯では、正午から午後一時までが火災の多い時という結果になっています。火災原因は、たき火、たばこ、火あそびなどが主なものとなっています。

たばこは、四百五十度から六百五十度という高温になりますから、吸いがらの扱いは慎重にしましょう。特に寝たばこや、吸いがらの投げ捨ては、絶対しないてください。

冬は、暖房などに灯油を多く使います。私たちが普通使っている石油は灯油のこと、引火性で水より軽く、そのガスは空気より重い性質があります。

石油ストーブを使う時は、説明書の指示に従い、給油の際は必ず

多忙な救急活動

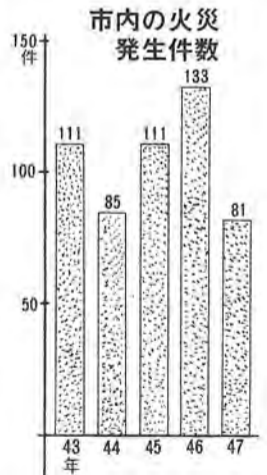
望まれる医療体制

救急業務は、昭和八年ごろ、横浜市で行なわれ、その後大都市で任意に行なわれるようになり、柏市では、昭和三十八年四月の消防法が改正になってからです。柏市では、すでに三十四年九月から業務を行なっていました。

当初は年間百五十四件の出動回数で百六十九人が収容されていましたが、都市化にともない救急需要は飛躍的に増加し、四十六年には、千九百六十件、収容人員二千三十九人と約十二倍の数字を示しています。事故の内容は、交通事故と急病が多く、ほかの事故は

救急業務は、昭和八年ごろ、横浜市で行なわれ、その後大都市で任意に行なわれるようになり、柏市では、昭和三十八年四月の消防法が改正になってからです。柏市では、すでに三十四年九月から業務を行なっていました。

当初は年間百五十四件の出動回数で百六十九人が収容されていましたが、都市化にともない救急需要は飛躍的に増加し、四十六年には、千九百六十件、収容人員二千三十九人と約十二倍の数字を示しています。事故の内容は、交通事故と急病が多く、ほかの事故は



万一に備えて

防災計画できる

柏市防災会議では新しい「柏市地域防災計画」を立案中でした。この計画は、関係機関に配

新入学生に祝金

児童を受けているかたに

ことしの四月に小学校へ入学する児童をお持ちの家庭には、興から三千円の入学祝金をさしあげることになりました。

これを受けるかたは、柏市民で現在児童手当を受けている者、また四月一日から児童手当の該当児童の範囲の拡大（児童を三人以上養育しており、第三子以降に昭和三十八年四月二日以後に生まれた児童がいること）によってそれに該当する予定の者のうち、いずれも第三子以降の子ともさんが小学校に入学されるかたです。

お早めに手続きを

どしどしご応募を

「環境週間」の標語

ことしから「世界環境デー」の六月五日を初日とする「環境週間」が設けられ、環境の保全を広く呼びかけることになりましたが、この「環境週間」にちなんだ標語をつぎのとおり募集しています。

○主題 公害の防止、自然環境の保護など環境の保全についての意識を喚起したもの

○応募方法 言葉はがき二枚に「標語」とし、住所、郵便番号、氏名（ふりがな）、年齢、職業（学生・生徒の場合は学校名、学年）を明記して、東京都千代田区電ヶ関三十一（郵便番号一〇〇）環境庁広報室へお送りください。

○締め切り 二月二十八日（当日の消印有効）

入選者には、環境庁長官賞状と記念品が贈られます。

市競争入札参加資格申請

今月28日までです

市が48年度に発注する工事や資材、物品などの調達に入札参加を希望するかたは、今月28日までに市役所管財課契約係（内線256）へ競争入札参加資格の審査申請書を提出してください。

申請書の様式は、市役所地下売店で販売している市指定様式となっております。

なお、工事（工事と調査設計測量）と物品（物品や清掃そのほか）は別冊で提出してください。



「家族そろって歌合戦」に出演の船戸のおびしや祭り

ブラウン管に登場

船戸のおびしや祭り

市内船戸に残されている郷土芸能「船戸のおびしや祭り」が、二月十一日のテレビ番組「家族そろって歌合戦」(TBS・6チャンネル午後一時十五分から)の中で全国に紹介されます。

船戸のおびしやは、今から三百年前の元和年間から伝わり、その年の豊作を祈るために行なわれてきた村人の行事です。「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

保存会の皆さんが色あざやかな衣装をまとい、軽やかな笛や太鼓の音にあわせて、はなやかな春祭りのように舞をひらきました。

こと九月の完成を目ざして、工急ピッチの柏駅東口都市再開発工事。このほびしやの愛称、機会に一度、ご覧になってみませんか。また「柏」に決まりました。また、市北部の玄関、北柏駅南口の土地区画整理も本格的に着手



このように三万都市に向かって進展する市勢とともに、古くから郷土の先達によってつちかわれてきた郷土芸能も力強く生き続けたい。そのひとつ、船戸のくさき。

スカイプラザ・柏に決まる

再開発ビルの愛称

名付け親は花野井の吉田さん

「私の名まえをつけて」本紙一月十五日号で市民の皆さんに呼びかけていたふたつの再開発ビルの愛称は、吉田衣子さん(花野井一〇七八)の作「スカイプラザ・柏」に決まりました。



北柏駅周辺を整理した市街地に、北柏駅南口土地区画整理事業が本格的に着手された。この事業は、柏都市計画事業の一として、四十六年四月の北柏駅開設によって市街化が予想され、北柏駅周辺約四十一ヘクタールを整った町並にするため、四十七年三月から進めているもので、総事業費は約十三億円。区域内約十五ヘクタールの埋立事業は石浜・後藤共同企業が三億八千二百万円です。再開発ビルは、再開発ビルと名付けられています。

整った町造りに着手

北柏駅 区画整理工事始まる

北柏駅周辺を整理した市街地に、北柏駅南口土地区画整理事業が本格的に着手された。この事業は、柏都市計画事業の一として、四十六年四月の北柏駅開設によって市街化が予想され、北柏駅周辺約四十一ヘクタールを整った町並にするため、四十七年三月から進めているもので、総事業費は約十三億円。区域内約十五ヘクタールの埋立事業は石浜・後藤共同企業が三億八千二百万円です。再開発ビルは、再開発ビルと名付けられています。

工事が現地で進められ、市長のくわ入れによって市北部の玄関は均衡のとれた市街地造りが進められることになりました。この事業が完成すると、約六千平方メートルの駅前広場、そのほか公園四方所、緑地などが整備され、秩序ある町並が誕生することになります。完成は、昭和五十一年三月の予定です。

市政について語り合い

地域座談会開く



梅林町会で行なわれた地域座談会

日ごろ市民の皆さんが、市政に対して感じている意見や苦情を、ひきまじえて話し合う、という地域座談会が二月二十二日(月)梅林町会で開催されました。これは広報広聴活動の一として、広く市民の「生の声」を聞き、市政に反映させようという試みから開かれたものです。

当日、地元からは町会長さんをはじめとして二十四人に知らされていなかったために、市側から広報広聴課長、広報係など三人が出席し、なごやかな雰囲気でも話し合いが行なわれました。また参加者どうしの意見の交換もみられました。主婦の参加が多かったことから「防犯灯を設置してほしい」「バスの便をよくして」などの生活に密着した意見が多く、きめ細かな行政を望んでいることがわかります。しかし、市の組織や事業が十分

お隣りさん

誰の人でもない剛直の人だとも聞いた。これぞと思っただけには、テコでも動かさない剛直の人だとも聞いた。その直線的な真摯(しんし)さが、郷土愛となつては私費を投じて郷土史研究会を築き上げた。文芸への愛となつては、文芸同人誌の接後者の立場をとらせる

「わたしはこの郷土が大好きなんです。郷土の人にも伸びていってほしい」

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「私の名まえをつけて」本紙一月十五日号で市民の皆さんに呼びかけていたふたつの再開発ビルの愛称は、吉田衣子さん(花野井一〇七八)の作「スカイプラザ・柏」に決まりました。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

「おびしや祭り」というのは、正月関東地方で広く行なわれている行事で、部落の講中が組や講ごとにわかれ、当番の家を訪れて酒食のちまじを受けながら催し行なわれてきた村人の行事です。

柏のむかし



水戸街道と松並木

水戸地方が御三家徳川氏の城地になると、二十九里余り(約一二五キロ)の水戸街道は、五街道に次ぐ脇街道として重視され、道幅三間の大道(中道は二間・小道は一間)として整備され、宿駅制度が整えられました。交通の要所として宿場が散り、水戸宿・小倉宿・松戸宿が誕生しました。ほかの村と違うのは家並が整い本陣や問屋場のあることで、旅籠(はたご)・木賃宿・鍛冶屋や質屋・湯屋などが軒を並べ、活気のある町をつくりだしています。

上り荷物の輸送を考えると見ましよう。我孫子の問屋場で積み替えられた荷物は、柏を経て小倉宿へ向かいます。馬の背に揺られておおよそ三里、荷物は小倉宿の問屋場で再び積み替えられ、次に一般に宿に送られて行きます。まれば、ひとつ先の宿まで続けられることがありますが、割増の賃金が定められていて、このように、かえりを含めて四里から五里の短かい道のりに分担された輸送制度は、常に元氣な馬が用いられ、非常に能率的であるといえます。江戸と水戸の間の往來には、大名行列は三四日を費やしますが、庶民や藩士のゆきかえり江戸屋敷への台所荷物の輸送などは二泊三日の日数で、土浦と小倉に宿泊することが普通です。江戸へ上る旅人は土浦を早朝に出発し、小金原にさしかかる時は陽が西にたむき、小金宿にはあかりがともるころになります。疲れた足に先を急ぐ旅人が道に迷うこともしばしばあったようです。

今谷上町に残る水戸街道の松並木



川柳に「くたびれたやつが見つける一里塚」というのがあり、あつれくらくらいだつたか、もうこれくらい来たか、と旅人は道のりだけが心をなげめ、一里塚を見つけてはほっとして、疲れた足をほぐしたものでしょう。(市史編さん係)

盛りあげよう若潮国体(1)

国体リハール大会

若潮国体は「輝く心、輝く力、輝く太陽」のスローガンを掲げ、十月十四日から十九日までの六日間秋季大会が開催されます。二十九年競技種目にわたり、県下二十二市七町の五十七会場で開催される熱戦の中でも、柏市においては西の剣道ともいえるフエンスンク競技が行なわれます。

この競技に伝統と実績のある柏市では、国体に先がけて三月二十七日から三十日の間、国体リハール大会として、第二十五回全日本フエンスンク選手権大会を東京高専体育館で行ないます。

この大会で、千葉県フエンスンク層のあつと実力を十分市民の皆さんに見ていただくものと思

います。若潮国体の年を迎え会場整備や県外からの選手団の受け入れ態勢は急ピッチに進み、関係団体などの協力を得て、市にもようやく国体ムードが盛りあがりつつありますので、市民の皆さん、一層のこ

Table with traffic accident statistics for January 1-15, 1973. Columns include date, location, and number of deaths/injuries.

心と動く事故のもと

家庭だばママさんのために

あなたの体験をどうぞ 家計簿をつけているかた

家計簿をつけることは、明るい生活設計への早道のひとつといわれます。県庁審判推進委員会では、貯蓄増強中央委員会と協力して「わが家の家計簿」のテーマで体験談を募集しています。

柏市豊住にある社会福祉センターでは、市民の皆さんのご利用をお待ちしております。このセンター

には、大広間(63畳)、中広間(55畳)やお風呂があり、集会や休養などお気軽にご利用できます。使用料は、一時間につき二百円ですが、お年寄りや、お母さんなど子どもの家庭、体や心に障害のあるかたは無料となっています。詳しいことは、市役所福祉事務所(内線二九五)へ。

内線二四五までお問い合わせください。

「気軽にご利用を
社会福祉センター」

柏市豊住にある社会福祉センターでは、市民の皆さんのご利用をお待ちしております。このセンター

には、大広間(63畳)、中広間(55畳)やお風呂があり、集会や休養などお気軽にご利用できます。使用料は、一時間につき二百円ですが、お年寄りや、お母さんなど子どもの家庭、体や心に障害のあるかたは無料となっています。詳しいことは、市役所福祉事務所(内線二九五)へ。

内線二四五までお問い合わせください。

「気軽にご利用を
社会福祉センター」

市民生活

保育園の増設を!



野崎ノブ子 (主婦) 豊四季台四一八六ノ二〇八

わたしは、三児の母親ですが、毎月の教育費、特に保育の費用がかさむのは、頭を痛めております。月謝は、五、六千円で、われわれ若い親は大きな負担となります。しかし、幼児教育が義務教育と同様に普及している現在、通園させないわけにもまいりませんので、ぜひ市立の保育園を増設していただきたい。

【お答え】 保育園の施設や収容人員は、本市ははかりでなく、全国的に不足しております。そこで本市では、新設、増設策によって施設の拡充を図り、定員を増すよう努めています。現在計画中のものに、第二保育園の増設があり、ことし四月から八十名の定員増を見込んでおります。また、豊住地区に定員二百二十名収容の保育園を建設し、昭和四十九年四月に開園する予定です。さらに第一保育園の改築も検討しております。

ろを種類別にみてみましょう。缶詰は、あまり古くなると味・かおりなどが悪くなります。しかし、味付け、油揚げ、シロップ漬けは一般的に次の期間のたつたものがよいとされています。

①魚類、肉類、水煮の缶詰はできるだけ新しいもの。
②味の付いたものは二、三か月のものを、油揚げのものは一、二年位のもの、といったものを選んでもらいたいものです。

お子さんかたに喜ばれる果物の缶詰は、お年寄りや、お母さんなど子どもの家庭、体や心に障害のあるかたは無料となっています。詳しいことは、市役所福祉事務所(内線二九五)へ。

「気軽にご利用を
社会福祉センター」

家事のヒント集

冬の太陽を、せいっぱい浴びてみませんか。ついでに手をあびて、思い切り背伸びをしましょう。とかく背中まるまる冬を家族をろってスケートをし

胸を張って、すくすく歩かせたい。みませんか。歩くだけでも、ちよつとした冒険の気分です。トイレのカバーを洗いましょう。和風なら、フタを忘れずに洗って、日に干します。「暮しの手帖二十一号」から

寄せられた善意
十二月一日から
一月十八日まで
社会福祉施設やぐまれない子どもたちのために、次のかたがたから暖かい寄付がありました。

杉浦くんにえん(あけぼの三丁目)四千円、第二富教パブテスト教会婦人会(東三丁目)五千円、町二丁目、柏樹屋二千三百三十九円

公害一口メモ(9)
大気汚染(その2)
オキシダント(光化学スモッグ)

勉強しやすい
条件は
温度・湿度・風・明るさ

体力つけば
学力も向上
富勢小の調べから

今後増加する幼児にに対し、ひとりでも多くのお母さんの要望にお答えし、子どもと母親が安心して暮らせるようにすすめていく考えです。(児童施設課)

富勢小は、市から「学力向上を目指す体力作り」研究校に選ばれています。この調査は、いまの六年生百三十五人を対象にして、五年生当時の国語と算数の成績、それに走りなどは、

やソフトボール投げ、さか上りなど、体力を比較したものであります。その結果、体力がびた三人(男十八人、女十九人)のうち学力がびた人は十七

人(男九人、女八人)です。また、運動能力がびた人は六十一人(男三十一人、女三十一人)のうち学力がびた人は十九人(男九人、女十人)。

富勢小学校の体力づくりは、去年の六年生のお兄さんたちが校庭のすみ卒業記念としてコンクリートでつくったジャンボ山のすべり台で遊んだりして楽しみながら行なっています。また東側の校庭には、高さ一・八メートル、横十メートルの板をたて、かじゅうの絵をかいてボールをかいじゅうめがけて投げ、体力をやしなっています。

「健全な精神は、健康なからだか」を実行しています。

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

体力づくりにボールを投げる富勢小の子どもたち

おしらせ

行政所	64-4131
格所	64-4132
出張所	
豊四季団地	66-3811
豊四季団地	72-2702
豊四季団地	31-5702
豊四季団地	31-6622
豊四季団地	72-4802
豊四季団地	66-2191
豊四季団地	67-2224
豊四季団地	67-5637
豊四季団地	64-5346
豊四季団地	64-9141

所得税など説明会

申告資料お忘れなく
昭和四十七年分の所得税と、昭和四十八年度個人事業税、市県民税の三税申告受け付けは、今月十六日から始まりです。

市民の皆さんに正しく申告してもらうため、松戸税務署と、東葛飾支庁、柏市役所では、三税の共同説明会を次のとおり行ないます。説明会には、すでに郵送してある申告資料を持参してください。この機会に、ぜひ出席して早めに申告いたしまし

市民生活館
二月の催し

二月の
三歳児誕生健診
○受診日 八日、十五日、二十二日の木曜日 午後一時から三時まで ○場所 柏保健所

郷土資料複製版刊行
希望者は図書館へ

固定資産税第四期納期
今月は固定資産税第四期納期です。忘れずに納税しましょう。

市民生活館
二月の催し

職業訓練生募集
技術を身につけよう

七業種を追加
中小企業資金融資制度

市民生活館
二月の催し

市民生活館
二月の催し